

ワンデー
一日で集中的に体験する

インタラクティブ フォーカシング ワークショップ

インタラクティブ・フォーカシングとは

インタラクティブ・フォーカシングは、ジェンドリンのもとでフォーカシングを学んだジャネット・クラインたちが、深い相互理解や人間関係づくりを願ってフォーカシングに相互作用を加えたものです。

【特別講師】前田 満寿美 先生

国際フォーカシングインスティテュート（ニューヨーク）認定フォーカシング・トレーナー、
インタラクティブ・フォーカシング・マスターティーチャー、臨床心理士

*講師からのメッセージ

対面形式でインタラクティブ・フォーカシングを伝える機会を今年もいただき、嬉しい限りです。

この手法は、共感的な傾聴力をつける効果的なトレーニング法と言われており、セラピーや援助場面ではもちろん、日常でも良好な人間関係づくりに役立つような聴き方を身につけることができます。また、話をし、聴き合うインタラクティブ・フォーカシングを体験すると、双方に気づきが起これば自己理解・他者理解が深まり、癒され感が味わえます。

今回は「話し手が話の世界をどのように心にいただいているか」その話全体のエッセンスを聴き手がとらえて、象徴的に表現する練習に重きを置き、その効果を互いに実感していただきたいと思います。楽しみながら、ステップ・バイ・ステップで学んでいただけるように工夫しました。ご一緒にほっこりした時間を過ごしませんか？

【日 時】2024年7月27日（土）10時30分～16時30分（12時30分～13時30分休憩）

【場 所】法政大学多摩キャンパス現代福祉学部棟2階214教室（対面で実施します）

【内 容】ウォーミングアップ：アイスブレイキング、インチューンメント、デモ、ほか
実習：からだの感じを感じる、伝え返し、フォーカサー・アズ・ティーチャー、ダブル・エンパシフィック・モメント（「共感的なエッセンス」を出す練習）、シングルウィングなど
ふりかえり：ディスカッション、静かなとき、ほか

【定 員】先着20名 参加費無料

希望者は末武（suetake*hosei.ac.jp、*を半角@に変更）までメールで申し込んでください

【受講対象】臨床心理学専攻大学院生・修了生、現代福祉学部生、その他企画者が認めた人

参考文献

クライン, J. (前田満寿美訳 2005) 『インタラクティブ・フォーカシング・セラピー』誠信書房

近田輝行監修、前田満寿美・伊藤三枝子著 (2016) 『ハンドブック インタラクティブ・フォーカシング—からだに根ざした深いコミュニケーションを学ぶ—傾聴・共感・癒し—』インタラクティブ・フォーカシング学習会

近田輝行監修、前田満寿美著 (2021) 『セミナー インタラクティブ・フォーカシング—ジャネット・クラインとメアリー・マクガイヤーに学ぶ—』